

自分自身に誇りを持ち、自他を尊重し、未来を切り拓く人間の育成

伊里中だより

夢の中へ

令和7年2月28日
備前市立伊里中学校

校訓
自律・愛・創造

もうすぐ春です!!あともうひと頑張りを!!

今年度もあと1ヶ月となりました。今年の冬は本当に寒さが厳しく、春が来るのが待ち遠しく感じます。暦の上では「雨水（うすい）」。「雨水」とは「降る雪が雨へとかわり、大地が潤い始める頃」とされています。まだまだ厳しい寒さが続いています。春はもうそこまで来ています。3月には、今年度の集大成の学校行事である「卒業式」や「修了式」があります。最後までみんなでがんばって、「有終の美」を飾りましょう。



生徒朝礼・論語学習

毎月第1火曜日に生徒朝礼を開催しています。生徒会執行部が司会などの運営を行い、論語を学習したり、委員会の活動について報告したりしています。「論語学習」では、立花尚先生を講師としてお招きしてお話をいただいています。いつもは体育館で行っていますが、冬の寒い時期には緑陽会館で行うこともあります。今月は、インフルエンザなどの感染症対策のため、初めてオンラインで行いました。主会場の会議室から立花先生がお話下さり、それをオンラインで各教室に中継しました。GoogleのMeet機能を使って行いましたが、特に問題なく開催することができました。各教室には大型の電子黒板も導入され、教室にいた生徒も見やすかったです。今後も、学校生活の様々な場面でタブレットなどICT機器を有効に活用していきたいと思います。



立志の会（2年）

2年生は、2月4日（火）に「立志の会」を行いました。この会の目的は、2年生が（1）最高学年になるという意識を高め、14歳になる節目として志を立てること（2）2年間、ともに切磋琢磨した仲間との交流を図り、さらに学年の団結を高めること、（3）伊里地区に生まれ、地域に支えられながら育ってきたことに感謝するとともに、地域を誇りに思い、地域の一員であることを自覚すること、です。この日までに、学年としてもしっかり準備を進めてきました。当日はたくさんの保護者の方が来ていただきありがとうございました。内容は、学年決意表明、生徒1人ずつの誓いの言葉、祝いの餅の贈呈、地域の方より激励の言葉、餅つき、でした。一番感動したのは、生徒1人1人の誓いの言葉です。将来の自分へ向けての漢字1文字を選び、これまで学習してきた「論語」を引用して抱負の文を考え、みんなの前で披露しました。1人1人が、保護者の前で堂々と自分の決意を述べている姿には、頼もしさを感じました。2年生の皆さん、本当に立派でした。会終了後には、自分たちでついたお餅を食べて、交流を深めました。伊里中学校の生徒は、保護者や地域の方々に支えられていて本当に有り難いと思いました。今後も、学校としても「地域を愛し、大切に育てる生徒」を育てていけたらと思います。



英語交流会

2月18日（火）5・6時間目に、備前市内のALTの先生方3名をお招きして英語の授業を行いました。5時間目は2年生が、6時間目には1年生が、パフォーマンステストをしました。3～4名のグループをつくり、ALTの先生と対面し英語でコミュニケーションをとります。2学期には、オンラインで他校のALTとコミュニケーションをとる授業を行っています。初対面で緊張していた生徒もいましたが、しっかり自分の考えを英語で話している生徒も多かったです。英語の授業では、生徒の思考力・判断力・表現力を高めることを目標に授業を実践しています。1学期には、小学校のALTに自己紹介を行ったり、3学期には、小学校6年生の児童に中学校の生活をプレゼンしたりして、コミュニケーション力を身につけてきました。通常の授業でも、英語に興味・関心が持てるように英語の歌を歌ったり、ペアで英語で話をしたりしています。その学習の積み重ねもあり、英語を話すことが自然にできるようになってきました。今回は貴重な体験をすることができました。参加していただいたALTの先生方、ご協力に感謝します。ありがとうございました。



避難訓練

2月25日（火）の6時間目に避難訓練を行いました。伊里中学校では、各学期に1回避難訓練を開催し、緊急時の対応の仕方についての訓練を行っています。今回は「不審者対応の避難訓練」で、岡山県警察スクールサポーターや伊里交番の方々にも協力いただきました。酒に酔った不審者が教室に入ってきたという想定で行いました。スクールサポーターが扮した不審者に対して、教職員もほうきやモップなどを使って対応しました。生徒たちは、スムーズに避難場所である運動場に避難しました。適度な緊張感をもって取り組むことができ、全体的にいい訓練だったと思います。**「訓練は自分たちの命を守るためのもの。日頃からの訓練が大切である。」**学校としても毎回の訓練をしっかり目的をもって取り組んでいきたいです。生徒たち1人1人が、万が一のときに冷静に行動できるようになってもらいたい、と期待しています。



編集後記

いよいよ明日から3月です。日差しも少し温かくなり、春の気配を感じる季節になりました。今年の冬は本当に寒く、春の到来が待ち遠しいです。さて、先日普通教室などに「電子黒板」が入りました。「電子黒板」とは、パソコンの画面、たとえば資料や写真などがそのまま電子黒板に映し出すことができ、拡大して見せることができます。また、映し出されたグラフや写真にペンや指で自由に文字やマークを描くことができる優れたものです。これは、備前市が進めている「備前市教育DX（デジタルトランスフォーメーション）プラン」の一環の取組です。DXプランとは、デジタル技術を活用して、教育そのものの改革、授業スタイルを変えることです。教師から生徒への一方通行の授業ではなく、個別最適な学びや協働的な学びを目指しています。今後も、授業はもちろんのこと、様々な教育活動に活用していきたいと思います。さて、今年度もあと1ヶ月になりました。現在、学校としても今年度のまとめをしています。そこで大事になるのが、「生徒達や保護者の皆さまからの声」です。2学期末には学校評価アンケートにご協力頂きありがとうございました。**アンケートの中で私がうれしかったことは、「伊里中学校は、自慢できる（誇りに思う）学校だと思う。」という項目が、昨年度よりも評価が上がったことです。**自慢できるところは人それぞれだと思いますが、「自慢できる」と思ってくれることがうれしいです。その反面、家庭学習や学力の向上などの学習面については、まだまだ改善が必要だと感じています。来年度の課題として考えていきたいと思っています。

